

テーマ:東アジアの人と文化の交流

【授業の主旨】

「東アジア諸地域の人と文化の交流」をテーマとしています。現在の東アジアは観光流動や出稼ぎ、移住などの人的交流、あるいはサブカルチャーまでを含む文化交流が非常に盛んです。また歴史的にも様々な人と文化の交流が行われたことで、現在の社会や文化が形成されており、われわれが今いる日本も例外ではありません。

本演習では、このような視点を持って、韓国を中心としながら、中国・台湾までを含む東アジア諸地域の文化・社会について理解を深め、様々な局面での日本との交流について考察します。

上記のテーマに関して資料収集・報告・討議・レポート作成を行うことで、人文科学系の学生として身につけるべき資料検索・プレゼンテーション能力、文章力を身につけます。なお、ゼミでは簡単な韓国語文献資料や、韓国語映像を用いることがあるので、韓国語の学習経験が全くない場合、ゼミ参加が難しくなるかもしれません。

【授業計画】

春学期は、韓国を中心とした東アジアの諸地域に関する基礎知識、資料検索の方法などについて復習を行った後、教員の指示するテーマに沿って、各自担当を決めて資料調査を行い、発表報告を行います。昨年度のテーマは、「韓国を知るためのキーワード」「韓国社会・文化がわかるCM映像分析」を実施しました。

秋学期は、卒業論文について各自おおよそのテーマを決め、その基本的な事項について調査・報告してもらいます。なお、4年生の卒業論文中間発表会があるので、必ず参加してください。またグループワークを行うこともあります。これまで、「韓国アイドルグループと国連SDGsイベント」「東アジアのECサイトの評価」を実施しました。

なお、受講生との相談の上ですが、上記のテーマに沿った海外や国内での研修や、学部学科の各種イベントへの参加について企画・実施する可能性が高いので、理解の上受講してください。

【成績の評価】

発表・討論への参加(成績評価の50%)、出席(成績評価の50%)で評価します。出席、発表におけるレジュメの完成度・プレゼンテーションの巧拙と、いかに積極的に討論に参加したかを評価基準としています。特別な理由なしの欠席を3回以上した場合、不合格とします。

面談に際しての注意事項

当演習の受講を希望する学生は、①「なぜこの演習を希望するか」、②「自分が(今のところ)追究したい卒業研究のテーマ」について準備してください。また、③ポートフォリオ資料など、自分がこれまでにやってきたことを示せるようにしてください。また④韓国語の履修歴・学習歴、韓国語資格取得歴、韓国をはじめとした海外滞在・留学経験などがあれば、必ず示してください。

面談の予約

アポ(予約)なしでも予定時間内であれば面談しますが、できれば事前に下記にメールを送ってください。「面談の時間が合わない」人も一度メール連絡を下さい。

shibuya@isc.chubu.ac.jp